

6年生の家庭学習

【のびのびメニュー、わくわくメニュー】

- 次の日などに学習することに自分からチャレンジする。
 - ・教科書の問題を解く。
 - ・おうちの人に聞いたり、本やタブレットで調べたりする。
- 自分の興味がある学習をする。
 - ・たくさんの本を読み、さまざまな表現や言葉に触れ、それらを生かしながら自分で物語や意見文を書く。
 - ・算数の教科書の巻末にある応用問題や、調べて見つけた難問に取り組む。
 - ・社会ででてきた人物や地理について、本やタブレットでくわしく調べてノートにまとめる。
 - ・理科の学習につながる日常生活の疑問や興味をもった事象について、本やタブレットでくわしく調べてノートにまとめる。
 - ・英語で習った表現を使って家族と話してみたり、中学に向けて話せるようになった英語表現を書いてみたりする。
 - ・ニュースや新聞を見て気になった時事問題について調べたり、自分の考えをノートにまとめたりする。(環境問題、SDGsなど)

こんな自主学習にチャレンジしてみましょう！ 【ばっちりメニュー】



国語



算数



【漢字練習】

- ・とめ、はね、はらい、書き順に気を付けて繰り返し練習する。言葉や熟語、短文作りをすると漢字の使い方が身に付く。
- ・小学校で習う1006字の漢字がすべて読め800字の漢字が書ける。

【意味調べ】

- ・辞典を使い、教科書に出てくる語句について調べる。四字熟語やことわざなども調べ、その活用方法をノートに書きこむ。

【感想文】※習った漢字は必ず使う。

- ・読んだ本などの感想を「初め」「中」「終わり」に気をつけて書く。自分の思いをいろいろな言葉で表現豊かに書き残す。

【要約と主張】※習った漢字は必ず使う。

- ・教科書、本、新聞記事の内容をまとめて、それに対する自分の考えを書く。字数制限やキーワードを決めて取り組むとよい。
- ・一文の長さが長くなりすぎないように意識をして書く。

【計算練習】※間違い直しを必ずする。

- ・教科書やドリルの問題を繰り返し解く。正しく速くできるように時間を測って記録を残すとよい。(1回目より2回目が正しく速くなるように) また、途中の計算を必ず残す。

【作図】

- ・定規やコンパス、分度器を正しく使えるように練習する。(対称な図形、拡大図・縮図、平行四辺形、三角形、多角形など)

【授業の振り返り】※式・図・数直線・言葉の説明を使う

- ・授業でやった問題や似た問題をもう一度解く。
- ・解き方の説明や分かったこと・気づいたことをノートにまとめる。

【テスト直し】

- ・間違えた問題をもう一度よく読み、もう一回やり直す。

【問題作り】

- ・先に式や答えを決め、問題を考える。数直線を使うのもよい。



理科・社会



その他



【言葉や人物を覚える】

- ・大切な語句や、年表や人物名と関連する出来事など、教科書に太字で出ている言葉をノートにまとめる。

【観察や実験のまとめ】

- ・教科書やノートを見て、もう一度、やり方や分かったこと、まとめを書く。

【読書】

- ・人物伝や日本の歴史、世界の国々の紹介などさまざまな分類の本を読む。

【縄跳び・裁縫・リコーダー】

- ・目標を決めて、繰り返し練習する。ぞうきんや小物などを縫ってみてもよい。根気よく続ける。

まず、宿題、そして、自主学習にチャレンジ

学習を始める前に、落ち着いて学習できる準備をしましょう。

- ・テレビやゲーム、音楽などを消しましょう。
- ・けずった鉛筆、消しゴム、下じきなど、学習に必要な用具を確かめましょう。
- ・机の上には、教科書やドリル、ノートなど、学習に使うものだけをのせます。必要のないものは片づけましょう。